

## KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ

# チュートリアル通信

【2018 年度春】税法科目免除 VOL.3



河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学习に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・金田チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



KALS チュートリアル通信 税法

検索

## 研究計画書とは？

### ● 研究計画書の受験上の役割

皆さん、研究計画書の作成は順調ですか？今回は、研究計画書について詳しくお伝えしようと思います！研究計画書の作成手順を紹介する前に、なぜ受験の際に研究計画書を提出させるのかを考えてみます。研究計画書とは、出願者の「論文を書く力」を評価する資料のことですが、特に以下の点が重要です。

- ① 研究テーマ（＝問題意識）の妥当性
- ② 先行研究の網羅性
- ③ 論述力
- ④ 論文の体裁，引用表示のルール

取り上げた研究テーマが既に多くの人に研究されているもの、つまり解決済みと言われているような場合は、研究テーマとしての価値がありません。また、自分の意見を一方的に主張するだけでは「エッセイ」になってしまいますので、著名な学者の研究状況についての網羅的な調査が必要になります。さらに、結論にむけた論述が

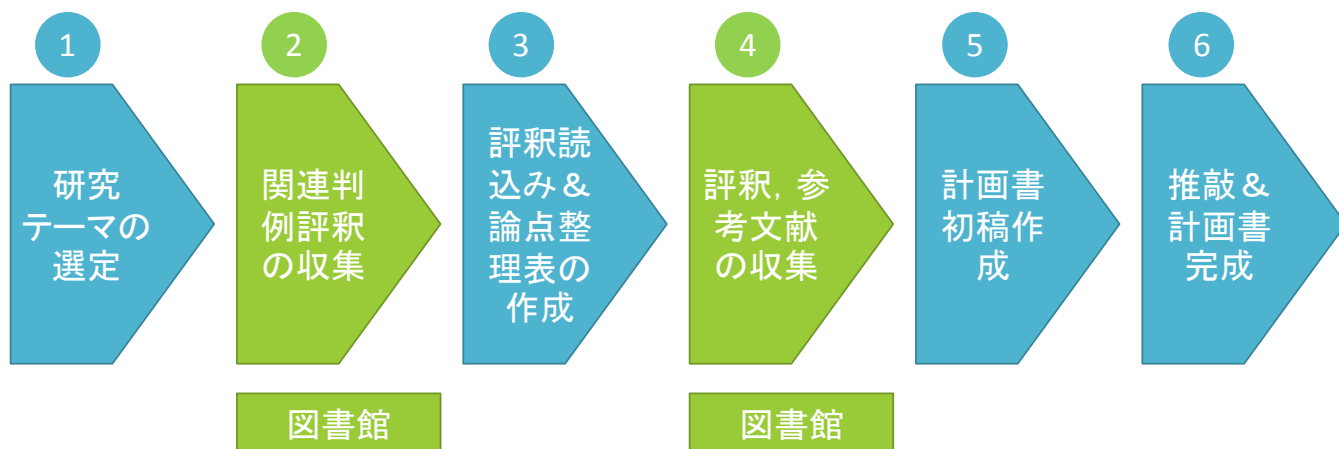
先行研究などを利用しながら客観的に述べられていることも大切です！そして、それが論文を読み慣れた読み手に違和感を感じさせないように書かれていることが重要になります。

かなり多くのことがこの一つの資料で評価されるので、心配になりそうですね。ですが、そのような形で書けるよう皆さんを指導するのが KALS の役割ですので安心してください！



# 研究計画書の作成手順

前回は評釈の収集まで簡単にご説明しましたが、研究計画書完成までの手順も簡単に見てみましょう。



## ① 研究テーマの選定

関心があるものや、自分の経験と関連付けられるものをテーマにすることがオススメです！

## ② 関連判例評釈の収集(図書館)

前回説明した通り、テーマが決まったら、その判例に関する論文である「判例評釈」「判例批評」「判批」「判例解説」などともいいます。)を図書館で収集します。できれば10件以上収集しましょう！

## ③ 評釈読み込み&論点整理表の作成

評釈が収集できたら、まずじっくり読みます。そして、論点ごとに裁判所の判決（地裁、高裁、最高裁それぞれ）、原告・被告の立場・主張、各学者の評価をまとめた「論点整理表」を作成してください。

ここまでできればゴールはもうすぐです！はじめはかなり大変に感じると思いますが、図や表にまとめながら何度も読んで慣れるようにしましょう。

## ④ 評釈, 参考文献の収集(図書館)

評釈をたくさん読むと、「重要な文献なのに収集できていない！」ということに気付く場合があります。論点整理表の完成のためにも、このような漏れた文献をもう一度収集しましょう。

## ⑤ 計画書初稿作成

ここまでできたら、研究計画書を指定の書式で書き出しましょう。完成したものについて個別指導で講師のアドバイスを受けてください。

## ⑥ 推敲&計画書完成

アドバイスを受けたら、何度も見直して完成まで進めてください。特に、誤字脱字はしっかりなくすようにしましょう！！

# 終わりに

4月から入講された方は、2か月ほどたちそろそろ勉強のペースがつかめたところでしょうか。

まだまだやるべき全体像の把握ができない中で、研究テーマ、志望校の決定と矢継ぎ早に、迷うことがいっぱいだと思います。特に、研究テーマの決定は先送りにすると準備が進みませんので、決めかねている方は講師やチューターに一日も早く相談するようにしてください！そして、少なくとも資料収集は今月までに終わらせるようにしましょう。

税理士試験も近づき、さらに忙しくなった方もいるとは思いますが、無理のない学習リズムで頑張ってください！志望する大学院のスケジュールは忘れずに確認してくださいね！！

